

後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）の発生動向【沖縄県：2014年～2023年】

県内データは2024年4月25日現在

感染症発生動向調査において、2014年～2023年<sup>\*</sup>に診断され届け出られた後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）の情報<sup>\*\*</sup>を還元します。

<sup>\*</sup>疫学週によります。具体的な各年の集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

<sup>\*\*</sup>県内データは2024年4月25日現在で、全国データの作成時点は下表のとおりです。

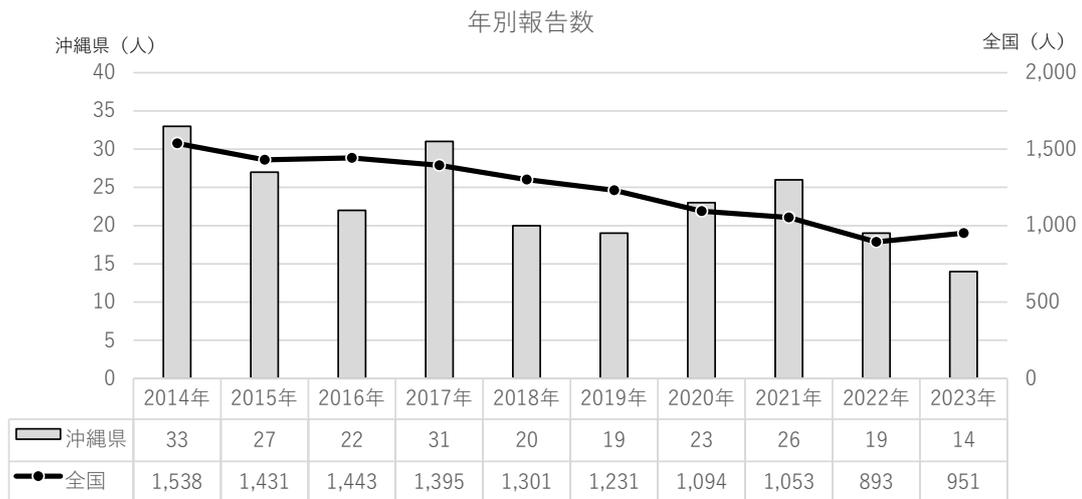
所属年	集計対象期間	全国データ作成時点
2014年	2013年12月30日 ～ 2014年12月28日	2015年10月25日
*2015年	2014年12月29日 ～ 2016年1月3日	2016年10月23日
2016年	2016年1月4日 ～ 2017年1月1日	2017年10月28日
2017年	2017年1月2日 ～ 2017年12月31日	2018年10月27日
2018年	2018年1月1日 ～ 2018年12月30日	2019年10月26日
2019年	2018年12月31日 ～ 2019年12月29日	2020年10月31日
*2020年	2019年12月30日 ～ 2021年1月3日	2021年10月30日
2021年	2021年1月4日 ～ 2022年1月2日	2022年10月08日
2022年	2022年1月3日 ～ 2023年1月1日	2023年10月28日
2023年	2023年1月2日 ～ 2023年12月31日	2024年03月09日

\*2015年および2020年は53週間、その他の年は52週間となっています。

(1) 報告数の推移（沖縄県・全国）

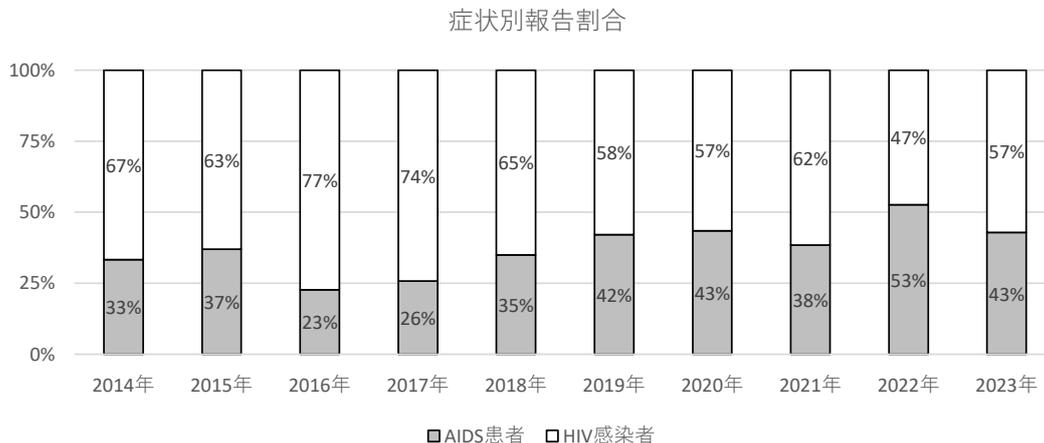
沖縄県における2023年の報告数は14人で、2014年以降最少でした。

全国における2023年の報告数は951人で、2022年に比べ増加しました。



(2) 症状別報告割合（沖縄県）

2023年のAIDS患者の割合は43%で、2022年に比べ減少しました。



(3) 性別報告数の推移（沖縄県）

2023年の男性の報告数は14人で、前年比0.74でした。

2023年の女性の報告数は0人でした。

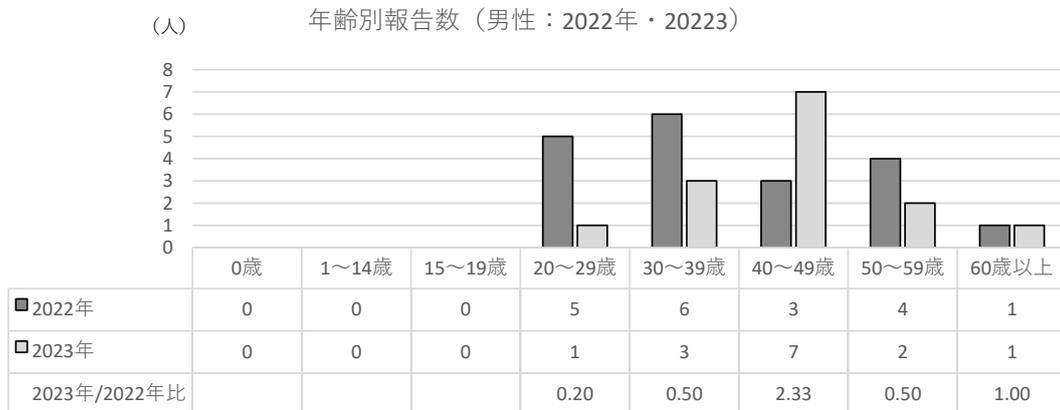


(4) 性別・年代別報告数（沖縄県：2022年・2023年）

① 男性・年代別報告数

2023年は40～49歳の報告が男性全体の半数を占めました。

2023年/2022年比でみると、40～49歳及び60歳以上が男性全体の2023年/2022年比（0.74）以上でした。



② 女性・年代別報告数

2022年に続き2023年も女性の報告はありませんでした。

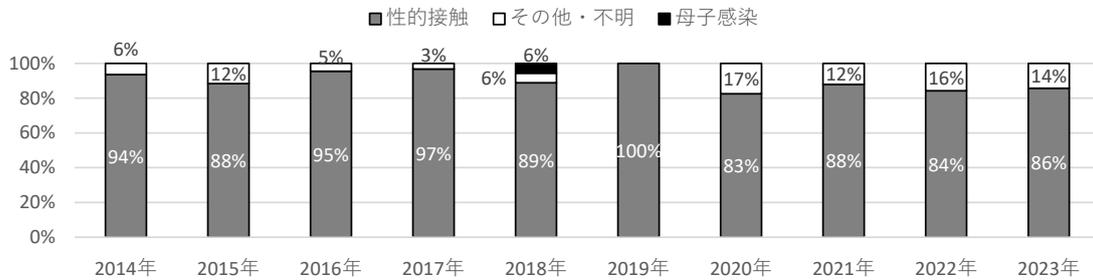
(5) 性別・感染経路別報告割合（沖縄県）

①男性・感染経路別報告割合

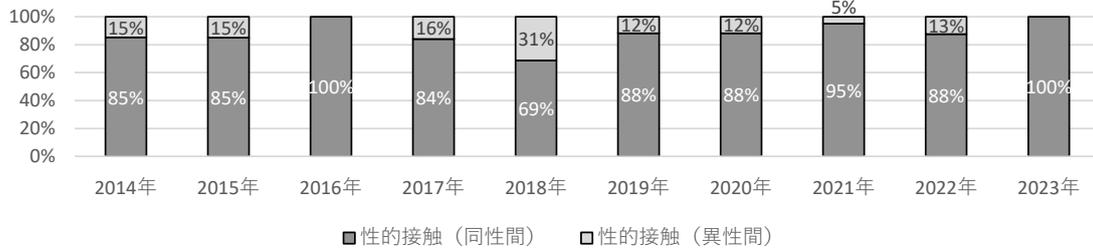
性的接触が多く、83%~100%で推移しています。

性的接触（不明を除く）における同性間・異性間割合は同性間が多く、69%~100%で推移しています。

感染経路別報告割合の推移（男性）



性的接触（不明を除く）における同性間・異性間の割合の推移（男性）

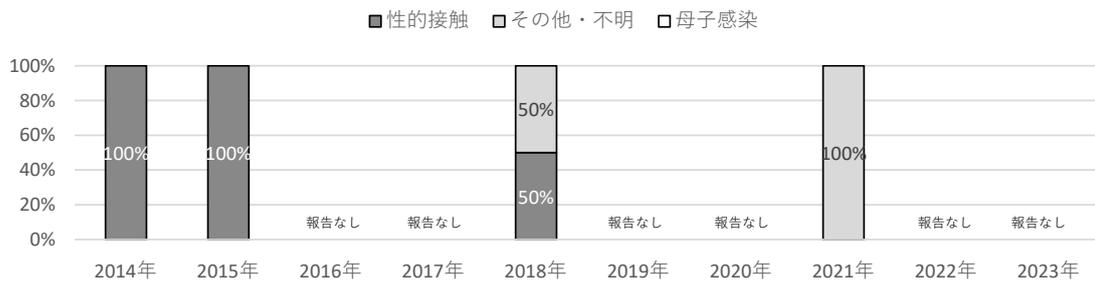


②女性・感染経路別報告割合

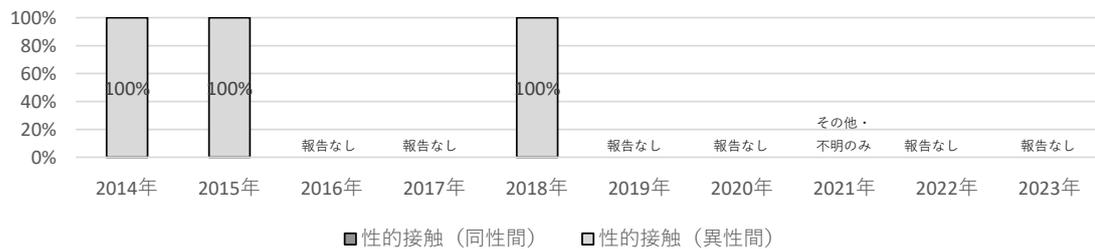
2014年から2023年の女性の報告数は6人で、うち、性的接触は4人でした。

性的接触では異性間の割合が100%でした。

感染経路別報告割合の推移（女性）



性的接触（不明を除く）における同性間・異性間の割合の推移（女性）



(6) 患者国籍別報告数（沖縄県）

日本国籍が多く、84%~100%で推移しています。

